



学術とメディアの国際連携で 東日本大震災の経験を世界へ

—インドネシア、フィリピン、タイと東北をつないで—



入場無料・要申込

言語・英語／日本語同時通訳あり

日本と同じく災害に悩んできた海外では、どのように防災に取り組み、人と自然の共生を模索してきたのでしょうか。このたび、インド洋大津波を経験したインドネシア・アチェの防災アクティビスト、自然災害科学を社会に伝えるプロジェクトに取り組むフィリピン大学メディア研究者、専門家と連携した洪水報道で視聴者から信頼を得たタイ公共放送ジャーナリストの3名を迎え、パネルディスカッションを行います。3名はパネルに先立ち東北被災地を訪問し、帰国後は、東北の経験を自国で発信予定です。アジア各国と東北をつなぎながら、新たな防災知の創出を目指します。

日時：2018/8/30（木）15:00～16:30

会場：仙台駅前AERビル（「震災対策技術展」東北 A会場）

ご挨拶



今村文彦 所長
東北大学
災害科学国際研究所

パネリスト



イナ・ニシュリナ氏
インドネシア・アチェ
防災アクティビスト



テレサ・コングイーコ氏
フィリピン大学
ディリマン校



ダリン・カムナードラット氏
ニュースエディター・アンカー
タイ公共放送

モデレーター



中鉢奈津子 特任助教
東北大学
災害科学国際研究所

プログラム

- 15:00～15:05 ご挨拶
- 15:05～15:45 登壇者プレゼンテーション
- 15:45～16:30 パネルディスカッション

パネルディスカッションの後（16:30～17:00）
第2回世界防災フォーラム開催について発表します

申込方法 ウェブから▼

<https://goo.gl/forms/nf0kmlqHVukyfid13>



問い合わせ 東北大学災害科学国際研究所 広報室

電話：022-752-2049 メール：koho-office@irides.tohoku.ac.jp



※JST科学技術コミュニケーション推進事業
問題解決型科学技術コミュニケーション支援を受けています。
※プログラムは変更になる場合があります。